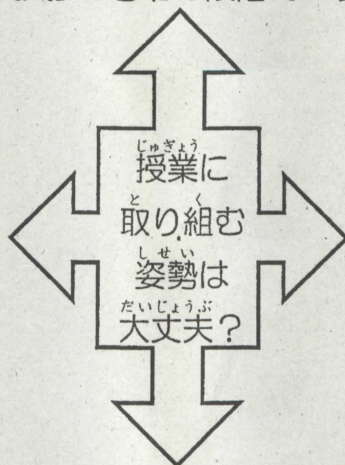


前号では提出物の件について苦言がありました。今回も引き続いて授業について気になることを伝えます。休み時間終了および授業開始のチャイムが鳴った時に、机の上に授業の準備ができておらず、挨拶の号令の段階でゴソゴソしている人が見られます。

当然そのような人はあいさつもできていません。声も出さず、頭も下げないまま済ましています。果たしてそれで授業に集中することができるのでしょうか？自分はどうかだったのか振り返ってみよう。



授業中には、聞く・書く・考える・探す(調べる)・意見を述べる、と様々な場面がありますが、この切り替えに苦労している人がいるようです。(書くことに意識しすぎて聞くことがおろそかになったなど)

「『テスト』は点数だけ見て終わり」になっていませんか？テストはテスト範囲内の内容がその時点でどれだけ自分のモノになっているかを計るものです。「50点であれば50%は理解できている」ということです。残りの50%をほったらかしたままでは、次の授業内容の理解が余計に難しく感じることになるでしょう。まだ間に合います。今からでも中間テストを振り返り、不正解だった問題の理解に努めましょう。

たくさん書いてきましたが、どれも自分の気持ちの持ちようひとつで変えられることばかりです。「このままでいい」なんて思っている人はいないはず。「何とかなるよね」ではなく「何とかする！今度は違うぞ！」と自分自身に見せつけるつもりでやってみよう。月が替わって11月になりました。何かを始めるにはいいきっかけになることでしょう。

感謝状

あなたたち一年生が
 芸術鑑賞の前日準備に
 おいて以下の通り良く
 動いてくれた結果全校
 生徒分の座席が綺麗に
 完成しました

一、作業を丁寧にやった
 一、正確さを追求した
 一、指示された作業以外
 に自ら考えて動いた

ありがとうございます
 みんなの良いところを
 また一つ発見しました